

RKU Today

流通経済大学広報誌

SPRING 2011

vol.15

【特集】

新松戸周辺探訪



流通経済大学

04

【特集】

新松戸周辺探訪

文：田畑 亨（スポーツ健康科学部講師）

10

【学長室だより】

企業家精神と実学教育

小池田富男（流通経済大学長）

12

【連載】ポルトガル語の「窓」から 第2回

ポルトガル語古文献で辿る16世紀東南アフリカの生きもの探訪

日笠博司（流通情報学部教授）

14

Close Up!

流通経済大学 [教職員紹介]

16

【馬場啓一のRKUウォッチング】

「大学時代は失敗を恐れずに挑戦してほしい。
人と関わることによって成長し、それが将来の自分へ繋がります」

高橋伸子 講師

文：馬場啓一（法学部教授）／撮影：齋藤 明（総務課）

18

【OB/OG 訪問】立川が聞く。

丸山勝久さん（1982年3月卒業・丸山製茶株式会社代表取締役）

取材：立川和美（社会学部准教授）

20

【留学生紹介】

楊 昭杭さん（中国出身）

「大学生活最後の1年も色々なことにチャレンジしたい」

取材：沖野雅広（企画広報室）

21

流通経済大学図書館からのお知らせ・ヨーロッパツアー報告

22

NEWS & TOPICS

〈巻頭言にかえて〉

東日本大震災について

2011年3月20日

このたびの東日本大震災によって尊い命を落とされた多くの方々に深く哀悼の意を捧げるとともに、ご家族、ご親族、ご友人を失われた皆様方、すべての被災された皆様方に対しても、心よりお見舞い申し上げます。また本学及び本学関係者に対して、国内外の大学関係者から多くのお見舞いを頂きましたこと、厚く御礼申し上げます。

本学では、地震直後に被災地域出身の全ての学生に安否確認のメールを発信しておりますが、困難な通信事情もあり、いまだ全容を把握するまでには至っておりません。今後とも全力をあげ、各ゼミナール等の支援も得ながら、安否確認に努めて参ります。

さて、いまだ余震及び福島原子力発電所の状況が予断を許さず、また交通機関の乱れと計画停電等の事情もあって、3月20日に予定しておりました2010年度卒業式及び学位授与式は、残念ながら中止と致しました。出席を心待ちにしていた卒業生並びに保護者の皆様方には、お詫び申し上げます。また2011年度入学式は、2週間程度延期することとし、4月16日（土）に挙行することに致しました。それに伴い、必要な授業時間数を確保するため、来年度に限って、祝祭日も授業を実施することに決定しました。いかに非常事態とはいえ、高等教育機関として教育の質を低下させてはならないとの本学の基本的な考え方に基づくものであり、ご理解賜りたいと思います。

現在は、新年度からの教育、研究が落ち着いて行えるよう、教職員の総力をあげて環境整備に取り組んでおります。原発事故に伴う放射線量の影響については、近隣のつくば市にある「独立行政法人産業技術総合研究所」の放射線測定結果を、常時本学HPから見られるようにしてありますが、事故後も東京、埼玉、神奈川と同レベルで推移し、全く心配はいりません。ただ、この間のストレスもかなりのものであると考えられることから、心のケアについても万全の態勢を取りたいと思っております。また、被災された在学生及び入学予定の皆様方には、修学への奨学金による支援のみならず、本学規定に基づく学費の減免等の経済的支援も実施致しますので、担当部局に問い合わせを頂きたいと思っております。

東北地方及び関東地方で被災された方々に対する思いは、皆同じです。復興に向けて、それぞれが今できることを、できる範囲内で最大限に行うことしかありません。本学教職員及び学生におかれましては、ネット等の根拠のない噂に動揺することなく、正確な報道に基づいて沈着冷静に対応していただきたいと思っております。

流通経済大学長 小池田富男





松戸の歴史

松戸という地域は、江戸時代以前から水戸街道の宿場町として栄え、明治時代以降、旧水戸街道の整備に伴って発展を遂げてきた街である。その後、バスや鉄道等のインフラ整備が行われて交通の便が飛躍的な発展を遂げ、昭和一八年には松戸町を中心とする町村が合併を行い、松戸市が誕生した。当時の人口は四万四三三人であった。

その後松戸市は町村合併を繰り返かえし、昭和三〇年代には、大規模な住宅団地が建設されるようになり、人々が多く松戸に移り住むようになってきた。昭和四八年には、常磐線、武蔵野線が

乗り入れる駅として、新松戸駅が誕生した。この新松戸駅の誕生により、多くの住民を都心や近隣の県に輸送することが可能となり、この当時、人口は約三〇万人を突破し、松戸市は生活都市としてのさらなる発展を遂げたのである。

生活都市として発展する一方で、松戸市内には、多くの大学がキャンパスを構えているのも特徴である。市内には、千葉大学園芸学部、日本大学松戸歯学部、聖徳大学短期大学部、そして流通経済大学と四つの大学があり、松戸は、学園都市としてもその地位を確立している。

【松戸市の概要】

面積：61.33平方キロメートル
世帯数：209,542世帯
人口：484,639人
(世帯数と人口は平成22年国勢調査速報より)

【松戸市の歩み】

- 明治22(1889)年 町村制施行により、松戸町、明村、八柱村、高木村、馬橋村、小金町が誕生
- 明治29(1896)年 日本鉄道株式会社海岸線(常磐線)田端～土浦間開通、松戸駅開設
- 昭和8(1933)年 松戸町と明村が合併(人口15,669人)
- 昭和13(1938)年 松戸町と八柱村が合併(人口21,506人)
- 昭和18(1943)年 松戸町・高木村・馬橋村が合併し、松戸市が誕生
- 昭和31(1956)年 沼南村の一部高柳、高柳新田地区を松戸市に編入
- 昭和35(1960)年 市内初の工業団地となる北松戸工業団地の建設事業が始まる
- 昭和43(1968)年 市の人口が20万人を突破
- 昭和48(1973)年 武蔵野線(新松戸～府中本町間)開通。新松戸駅開設
- 平成5(1993)年 市制施行50周年
- 平成16(2004)年 流通経済大学新松戸キャンパスが新松戸に開校

新松戸 周辺探訪



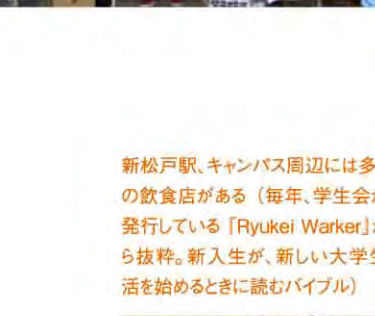
新松戸駅

千葉県の北西部に位置する松戸市。松戸市は、千葉県流山市、柏市、鎌ヶ谷市、市川市と、江戸川を隔てれば東京都葛飾区、江戸川区、埼玉県三郷市と隣接している都市で、首都圏へ通勤・通学する人々の生活都市として約48万人が住む街だ。また、最近では、日本人女性では2人目となる宇宙飛行士、山崎直子さんの故郷として話題となった街でもある。その松戸市に、本学は2004年4月、新松戸キャンパスを開校し、広く首都圏に住む学生に対しても教育を展開している。現在、本学の学生の約半数が新松戸キャンパスで勉学に励んでいる。今回は、新松戸キャンパスの周辺を探訪し、新松戸周辺の魅力を紹介する。

文：田畑 亨 (スポーツ健康科学部講師)



◀◀◀ 発展する街とともに歩んだ新松戸キャンパスの7年間



先述したように、新松戸は、首都圏からのアクセスが良く、首都圏に働く人々の生活都市として住宅地開発された土地である。新松戸キャンパスは、その住宅地の中に位置している。新松戸駅から大きくのびる道路が新松戸のメインストリートとなっており、そのメインストリートの脇に植えられている桜の木は、春の訪れを、花を咲かせて知らせてくれる。ここ以外にも桜の木は新松戸の至る所に植えられており、春になると、桜の花で新松戸の街が華々しく飾られる。

新松戸周辺では、様々なイベントが催されるのも特徴である。夏になるとメインストリートを使って「新松戸まつり」が開催され、新松戸周辺の風物詩ともなっている。また、新松戸キャンパスでも六月には「青春祭」が開催され、一二月にはキャンパスを無数の電飾で装い、新松戸周辺の夜をイルミネーションで彩っている。

新松戸周辺の行事



写真:新松戸まつり実行委員会提供

新松戸駅、キャンパス周辺には多くの飲食店がある(毎年、学生会が発行している「Ryukei Walker」から抜粋。新入生が、新しい大学生活を始めるときに読むバイブル)



発展を遂げてきているといえよう。

食の街、新松戸

新松戸周辺には、多くの人々が生活していることから、その周辺には飲食店の数も多い。そして様々なジャンルの食事を楽しむことができる。キャンパス内にある学生食堂GINZA SUEHIROを始め、学生に人気のラーメン店やファストフード店も多い。近くのインド料理店は、食事時になると多くの人で賑わっている。新松戸キャンパスで学ぶ学生にとって、授業の合間に、キャンパス周辺で食探検をするのも、楽しみの一つである。

二〇〇四年四月に新松戸に新たにキャンパスを開校し、首都圏を中心とした学生に対し高等教育を展開している本学は、二〇一一年四月に、この地での七年目を迎える。松戸市の発展と比較すれば七年という歳月はまだまだ日が浅いが、しかしながら流通経済大学は、新松戸の街にとけ込み、地域の発展とともに、大学も



新松戸駅周辺にはたくさん的高層マンションがあります



大学前のけやき通り



〈新松戸から近隣の主要都市へのアクセス〉



大学から徒歩4分のところにある新松戸中央公園



けやき通りを大学屋上から見た景色

地域社会にとけ込む新松戸キャンパス

新松戸キャンパスの最寄り駅は、新松戸駅である。新松戸駅は、JR常磐線・武蔵野線が乗り入れ、東京、茨城、千葉、埼玉へと非常にアクセスが良い駅で、一日の乗降客数は約七万二〇〇〇人と、多くの人々が利用する駅である。

新松戸駅から街の中心を通る大通りを歩いていくと、すぐに新松戸キャンパスが見えてくる。新松戸キャンパス



市民も利用することができる新松戸キャンパスのRKUカフェと図書館



新松戸キャンパス高層棟の屋上から見える東京スカイツリー

には一三階建ての高層棟があり、周辺にはマンション群が隣接しているが、それら周辺の建築物よりもはるかに高くそびえ立ち、新松戸の街を見下ろしている。

また、その高層棟からは、遠くは富士山、首都圏のビル群、東京スカイツリー(平成二四年春開業予定)、そして関東平野を見渡すことができ、新松戸の隠れた名所となっている。

新松戸キャンパスの大きな特徴のひとつは、エントランスが開放的で、文字どおり地域住民と大学の間に壁がないことである。そのため、キャンパス内にテナントとして入っている丸善(書店)やRKUカフェ、GINZA SUEHIRO(学食)には、昼時になると地域住民が食事をしに訪れたり、また本を購入するために訪れたり、住民がキャンパス内を自由に歩き来する光景が見られる。

新松戸にキャンパスを開校して七年、すでに新松戸の街にとけ込んでいると言いうことができるだろう。



大学は 松戸にとっての 財産です

新松戸キャンパスを擁する松戸市。人口約五〇万人を数える、千葉県屈指の都市である。松戸市の本郷谷健次市長に、大学と行政のあるべき関係について語っていただいた。

「松戸市には流通経済大学を始め、四つの大学があります。聖徳さん、日大歯学部（馬橋）さん、そして千葉大の園芸学部さんです。大学は、松戸にとっての財産であり、そこに学ぶ学生さんやご家族は、その多くが松戸市の市民で、大切ですよ。大学と松戸市の関係を活性化したいですね。」

「そうですね。祭りを一緒にやるとか。四つの大学と本格的な協定を結び、有機的な関係を恒常的に築くとか。目下検討中です。大学がキャンパスを出て、松戸の街自体が大きなキャンパスとなることが、理想ですね。」

市長は大学に対して大いに好意的である。「大学への有効な土地の提供も、検討中です。街が大学を大切に、大学も松戸に対して出来ることを考える。そういう関係です。」

ところで松戸市、東京からの近さを考えると、その発展性はひじょうに高い。「昭和三五年までは一〇万人足らずだった松戸市の人口も、高度経済成長の波に乗り、以後なんと毎年一人ずつ増えてきました。団塊の世代と、そのジュニア世代の二つが、人口比のピークを形成します。」

松戸市の特徴として、高学歴ということもあるでしょう。

「はい。ですから文化を大切に、子育てや教育を重視し、お年寄りを中心にした人と人とのつながりを大事にする。さらには歴史を大切に街づくり。これらを目指しています。さらには、緑を大切に街として機能したい。」

本郷谷健次市長は大学卒業後企業（新日鉄）に勤められた。その後政治家を目指し退社。松戸市議を経て、昨年松戸市長に選出された。企業人だった経験が、今も生活者としての視点を可能にしている。

「東京に近く、生活都市として位置づけられる都市、それが松戸です。市民の意識も教育程度も高い。ですが多くの例に漏れず、松戸も人口的に安定期から衰退に向います。これを元気にするには生活者を大事にすることしかありません。」

若々しい市長ならではの意気込みだ。「上野までだった常磐線が、東京駅まで近々延びます。現在の線路の上に、もう一つ線路を重ねる方式です。JRとしては、これからの常磐線沿線の発展を見越してのことです。」

龍ヶ崎キャンパスにとっても、これは有効であろう。「ところで、定年以後の市民、つまりシニアの方々を受け入れられるような制度を、大学が考えてもいいのではないでしょ

しょうか」
市長の学生時代の同期の方にも、定年後を好きな研究に打ち込んでいる方が多いという。

「生涯学習の機運というのは想像以上に強いです。大学を出て就職し、定年を迎えたら今度は、前からやりたいと思っていた研究や学習を始める。そういう人が増えています。」

それに対し大学に何が出来るか、流通経済大学にとっても、これは大きな課題であろう。

「大学自体が、我々の頃と変わってきていると思います。それに行政がどう手助けをするか、我々も考えたいですね。」
そういう施策を積極的にアピールできたら、松戸市としてもプラスだ、と言われる。

「その意味で松戸市も、広報を強化したいです。これまで以上に、もっと広範囲に、強力に、市民に、全国に伝えたい、そう思います。個々の組織ではカバーできないエリアや階層に、より強力にアピールする。大学の広報にも市が協力し、これまで届かなかったレベルに上げていく。そして最終的には、松戸市自体を全国に注目させたい。」

本郷谷健次
（ほんごうや・けんじ）
昭和23年、愛知県名古屋市出身。昭和47年、東京大学経済学部を卒業後、新日本製鐵株式会社に入社。中央青山監査法人、監査法人トーマツを経て平成18年に松戸市議会議員に当選。平成22年7月に第21代松戸市長に就任し、現在にいたる。趣味はラグビー、読書、自転車など。

松戸の街自体が大きなキャンパスとなることが、理想ですね。

SHIN MATSUDO SPECIAL STORY



新松戸まつりで市民との交流を深める本郷谷市長
写真：新松戸まつり実行委員会提供



松戸市根本にある松戸市役所本庁舎

学長の活動
2010年12月～2011年3月

- 12月2日 室井佑月さんとの対談
- 12月3日 龍ヶ崎市総合計画策定のための意見交換会出席
- 12月9日 教員採用候補者の面接
- 12月16日 茨城県警小堀交通部長来訪
- 12月21日 大学協議会
- 12月23日 つくばね旗剣道大会出席
- 1月11日 私立大学連盟新年交歓会出席
- 1月18日 私立大学連盟学長会議出席
- 1月21日 尚絅館地鎮祭
- 1月25日 全学入試協議会、交換留学生修了式
- 1月26日 日本通運株式会社川合社長との対談
- 1月28日 松浪健四郎氏来訪
- 2月2日 青島健太氏来訪
- 2月3日 全学入試協議会
- 2月8日 学部長連絡会議、全学入試協議会、教員免許更新講習実施委員会
- 2月9日 龍ヶ崎市日中友好協会総会出席
- 2月17日 付属柏高等学校生徒来訪
- 2月18日 全学入試協議会
- 2月22日 財団法人海外運輸協力協会来訪
- 2月23日 大学協議会
- 3月1日 付属柏高等学校卒業式出席、全学入試協議会
- 3月10日 全学入試協議会、経済学部納会(親和会)出席
- 3月17日 全学入試協議会
- 3月28日 学校法人日通学園277回理事会出席



もまた、そうした明治期の偉人たちの志に通ずるものがあります。福沢は、教育を受けたビジネスマンの自発的な活動のみが国家経済を築くことができると、合理的な企業経営の意義を主張しただけでなく、民間ビジネス及び実業人の社会的地位の向上に貢献しました。福沢のプラグマティズムによって教育された人材が、のちに岩崎彌太郎の三菱や三井財閥の経営を担って活躍したことは周知のとおりです。また、岩崎の独占に徹底的に抗した渋沢もまた、国民経済の発展が個人の利得より重要であると、企業家活動についての教育の重要性を主張し、利益の期待できない分野でもあえて企業を

組織するなど、我が国経済の近代化に貢献しました。一方はJ・S・ミルの個人主義を、他方は儒教倫理を背景にしていたという違いがあるとはいえ、福沢と渋沢に共通しているのは、日本の経済の近代化と新興産業の育成・発展のためには、教育によって、時代の動向をきちんと把握し、自分の計画と行動の結果を判断できる「企業家」(Entrepreneur)を育成しなければならぬと考えていたことです。しかもこの「企業家」は、非合理的な樂觀にもとづいて行動する古いタイプの投機的な「商人」ではなく、存在する機会利益を合理的に計算できる「企業家」でなければなら



J.A. シュンペーター J.A. Schumpeter (1883～1950)
オーストリアの経済学者。市場均衡を資源配分の最適化と見る新古典派の経済学と異なり、均衡は企業者利潤も利子もゼロになる沈滞と捉え、企業家の行う「創造的破壊」、すなわちイノベーションこそが、経済を変動させ発展させると説いた。代表的著作は『経済発展の理論』(1912) などである。

ず、何よりも、「産業の振興のために誠実をもって働く人物」でなければならぬとしました。明治期に、「アジアの奇跡」といわれた、我が国の急激な経済発展および資本主義化を支えたものは、何よりもこうした実学教育による「企業家精神」の育成にあったと言って良いでしょう。福沢および渋沢は、後にオーストリアの経済学者シュ

ンペーターが、『経済発展の理論』(一九二二)において、経済発展が「企業家」による創造的破壊としての「新結合」、ないしイノベーションと呼ばれる革新行為によって実現されるのだと論じた、それよりはるか以前に、「企業家」のみならず「企業家精神」について言及していたこととなります。

【学長室だより】

Vol.08

企業家精神と実学教育

学長 小池田富男

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。本年もまた、それぞれの学部で総計一五〇〇名ほどの入学者を迎えることができ、誠に喜ばしい限りです。多くの私立大学が定員割れを起こしている中で、ここ数年、本学への受験者数は急激に増加し、特に「一般入試」や「センター試験利用入試」等で志願者数が急増するなど、ようやくにして流通経済大学の教育と研究への社会的評価が分相応のものになってきたと、意を強くしております。

さて、本学の「建学の精神」は、広い教養と深い専門的知識を持つて産業界で活躍できる指導的人材を育成することにあります。これに基づいて、どの学部においても、リベラルアーツを中心とした「教養教育」と、全員ゼミナール制のもとでの「少人数教育」、そして産業界との連携を視野に入れた「実学教育」を三本の柱にして、他の大学にはない特色ある教育を行ってきました。

近年、社会と経済が高度化、複雑化、グローバル化し、しかも少子高齢化にとどまらず人口減少期に入らる中で、我が国が今後とも活力ある社会と経済を築き、二一世紀型のイノベーション立国を目指して、国際社会での競争力を維持、強化していくためには、世の中の変化と多様な社会の要請に対応できる人材の育成や、新たな産業を創出する創造力豊かな人材の育成が、何よりも不可欠になってきます。こういう過渡期にこそ、過去の経験や伝統にとらわれず、企業活動に変革と革新をもたらす「企業家精神」(Entrepreneurship)を持った若い世代の活躍が期待されるからです。





日葡修好条約締結150周年を記念して
2010年秋、日本郵便が発行した特殊切手
右：リスボアの守護聖人「聖ヴィセンテ」彫像
(リスボア大聖堂蔵)
左：ベレンの塔(世界遺産)

第2回

ポルトガル語 古文献で辿る 一六世紀東南アフリカの 生きもの探訪

一六〇九年にポルトガルのエーヴォラで刊行され、東アフリカの博物誌を扱う『エティオピア・オリエンタール』(Ethiopia Oriental)という大著がある。これに拠って一六世紀末アフリカ東南部の生きもの探訪へ読者を誘うとしよう。著者はジョアオン・ドス・サントス(Frei Joao dos Santos O.P.)。エーヴォラ出身のドミニコ会宣教師だ。一六世紀末東アフリカの広大な領域の歴史、政治、人文、地理、民俗、風習、信仰、自然、動物、植物、鉱物等に関し、自己の見聞体験に依拠しつつサントスは該博にして興味深い知見を披瀝する。

モサンビーク島を布教していたとき、サントスは修道院に面した浜で凄惨な光景を目撃する。修道院の奴隷(召使)たるカフル人(モサンビーク一帯の先住民)が(人喰いザメ)に襲われ、膝の上に喰いつかれて片脚を挽がれてしまったのだ。まるで「ま

さかりの一撃で切り落としたかのような切り口」であった。奴隷は仲間によって陸へ引き戻されたが、まもなく絶命する(01)。この襲撃者がサメの仲間でも最も兇暴かつ危険といわれるホオジロザメであることに、まず疑いはあるまい。

サントスは、サメの餌食についてヒト以外具体的に記していないが、ホオジロザメの好物としてまず思い浮かぶのは、オットセイやアザラシのような鱗脚類。海面を泳ぐ彼らを水面下でつけ狙い一気に空中へ跳躍、そのとき皮下脂肪たっぷりの餌食に鋭い歯を突き立てる。「サメどもは常に海岸附近をうろついており、水面下で砂に身を寄せているので、突如獲物に襲いかかるまでその姿を現わさない。襲撃は急激であり、獲物を捕らえるやたちちに運び去る」。ホオジロザメの狩りが正しく描かれていると言つてよい(02)。



01

ホオジロザメ。巨大な顎に、ギザギザの入った三角形の歯。スティブ・バーカー「世界サメ図鑑」(ネコ・パブリッシング)より



02

アザラシを襲うホオジロザメ。獲物の下に廻り込み、一気に浮上して噛みつく。「世界サメ図鑑」より

〈背景〉

フェルナオン・ヴァス・ドウラードの彩色地図(16世紀半ば。部分)。モサンビークのやや南西にソファアラが見える。Fernão Vaz Dourado, Atlas. Códice Iluminado 171 da Biblioteca Nacional, CNCDPより

サントスの古文献で辿る東南アフリカの生きもの探訪。モサンビークから海沿いに南下、多くの河がひしめくように流れるソファアラへ到り、ここでライオンとハイエナの生息を探ろう。舞台は「ソファアラの河」(Zimbeという河に比定する説がある)にあるマロウベという大きな中洲だ。

他の肉食獣が打ち捨てた死体に群がる、短い脚に均整を欠く姿態、ヒトの囁い声に似た鳴き声を立てる、などハイエナには(不吉)のイメージがつきまとう。が、彼らの猛獣としての実力はライオン(雌)顔負けである。噛む力に絞れば、ライオンを凌ぎ陸上生物の首座を占める(03)。

マロウベの領主(ロドリゴ・ローボというポルトガル人)に案内されサントスは猛獣見物へ出かける。餌の豊富なマロウベで猛獣が人を襲うことはめったにないとローボが力説したからだ。夜明け前、ライオンとハイエナの唸り声が聞こえてきた。捕まえたメル(シカの仲間)に喰らいつくライオン。そこへハイエナが三つ四頭駆け寄る。獲物を仕留めたのは雄であつたらしく、さしものハイエナも迂闊に手は出せない(サントスの原文にはハイエナが「トラども」(leões)と表現される。一六世紀イベリア半島でハイエナが一般には未知見の存在であつたことによる便宜的な言い換えである)(04)。「トラども」はライオンの跡をつけこれが獲物を仕留めるのを待つ。狩りの苦手な雄

ライオンにとつてせっかくの獲物は貴重な命の贈り物、まるで「イヌのように」がつがつと喰う。「ライオンはトラどもに攻撃を仕掛ける。そのため彼らはある程度逃げ散る。が、すぐライオンへ逆襲を行なう。獲物を放すよう大きな唸り声を上げながら、ただしどのトラにも、彼の捕らえた獲物に取ってかぶりついてくる度胸はない」。ライオンの狩りの主たる担い手は雌である。雄は日常、群れを形成する雌に狩りをやらせ、雌が集団で狩つてきた獲物を強奪し、食事中は雌が近づくことすら許さない。そんな雄であるが、獲物がハイエナに横取りされかけると絶大な存在感を発揮する。姿を現わした一頭の雄の氣勢に、ハイエナはたちまち蹴散らされる。

ライオン対ハイエナのメル争奪戦。結着は容易につかない(05)。領主(ローボ)は漁夫の利よろしく猛獣から肉を掻き攫ってくるよう供回りに命ずる。カフル人猟師が奇声でもって「トラども」を威嚇、メルから追っ払うが、「ライオンは猟師に怯む気配を見せない。そのまま悠々と獲物を喰らい、近づいてくる猟師に唸り声を上げるばかりであつた」。猟師は言う。血に飢えたライオンは満腹せぬ限り、殺されても獲物を放しません。やがてライオンはゆったりと歩き出す。「その落ち着き払ったさま、どんな生きものも怖くはないぞと言っているようであつた」



04

ブチハイエナが仕留めかけたヌーをライオンが襲う。ンゴロンゴ自然保護区(タンザニア)にて。岩合光昭「ライオン家族」(小学館)より



© 岩合光昭

03

まだ息のある獲物を食べるブチハイエナ。セレンゲティ国立公園(タンザニア)にて。岩合光昭「おきて」(小学館)より

05

ライオンがこのようにブチハイエナを殺してしまう例はかなり稀だそう。ケニアにて。吉野信『カラー版 アフリカに行く』(中公新書)より



ポルトガル語の「窓」から

〈4回シリーズ〉

この言語から広がる豊穡の世界へようこそ!
ポルトガル文献学の日塾博司教授が案内します。
日塾博司(流通情報学部教授)

Hino Hiroshi



〔総務課〕
上田洋嗣 係長



〔スポーツ健康科学部〕
石田俊廣 教授



〔法学部〕
笹岡愛美 講師



〔流通情報学部〕
奥喜正 教授



〔社会学部〕
三田 譲 教授



〔経済学部〕
松崎慈恵 教授

教育関連の仕事に やりがいを感じています

民間企業で株式・採用を経験の後、大学に転職されたとか。ずいぶん畑違いのような感じがしますが…？
「学生時代から漠然と教育関連への就職は考えていたんです。前の会社で採用担当として、毎年たくさんの就職希望の学生たちと接しているうちに、やはり教育関係の仕事っていいなあ(笑)と。封印してきた感情が年を追うごとに膨らんできたのでしょうか」
大学で働いてみていかがですか？
「毎日こうして学生や教職員とふれあうのが楽しいです。『総務』の名のとおり大学の運営施策の企画調整に始まり、渉外、雑事全般となんでも回ってきますが、特に突発事象への対応は、迅速な判断・調整と対応が求められるので、難しさの中にやりがいを感じます」
休日はどう過ごされるのですか？
「旬の味覚を楽しめるお店を求めて遠くまで足を伸ばしたり、部屋で電子ピアノを弾いて過ごしたり…。最近では、ゴスペルを歌おうと誘われまして、ちょっと興味が湧いてきたんですよ」
(齋藤明・記)

健全なハード(身体)に 強靱なソフト(精神)

早稲田大学理工学研究科博士課程修了後、各大学で教鞭をとられた後、2006年4月より本学に着任。専門は、経営工学で、本学部では、スポーツ情報分析などを担当している。スポーツ情報分析では、経営工学で使われるOR(戦略)手法を使って予測(例えば、トラックの日本記録、世界記録の予測など)をITを駆使して行っている。そのため、データベース、コンピュータ・プログラミングなどのIT技術を実習を交えて習得する。
運動、栄養、休養のバランスを大切にされており、1日おきにジョギングをするのを日課にしている。常にマラソンの日本記録、世界記録の最新情報を頭の中にインプットし、ジョギングの際は、日本記録に挑戦しているとか。
学生には、将来、教員、インストラクター、会社等様々なフィールドに就職するに当たって、ファンダメンタルズ(基礎的諸条件)を整えるために、大いにスポーツと勉学に励み、スポーツを通して規律の大切さを身につけてほしいとエールを送っている。
(田畑亨・記)

物流活動における 法的問題を 研究しています

2009年4月に本学に赴任しました。法学部で、おもに商法という科目を教えています。またスポーツ健康科学部でも、法学入門的な授業(「社会の制度を知る」)を担当しています。専門は、商法の中でも運送法と呼ばれる分野です。とくに、国内または国境を越えて行われる物流活動から生じる法的問題について、関係当事者間の利益配分のあり方を探っています。たとえば、海上を船で運送中に荷物が海に落ちてしまった場合、誰に、何を、どのような根拠で請求することができるのか、というようなことを研究しています。また、国境を越える取引については、国際的な法統一の必要性が説かれており、最近、国連において新たな枠組みとなることをめざした条約も成立しました(未発効)。そのため、国際的な法統一および国際私法と呼ばれる領域にも関心を持って研究を進めています。
趣味は読書と旅行です。とくにヨーロッパで鉄道に乗るのが好きです。休日は、古地図を見ながら散歩をしています。

20年後に実用化

統計的データ解析を専攻してから26年経った。学部、大学院で所属した研究室のテーマは、多次元尺度法(MDS)であった。
1985年当時、研究室先輩の今泉忠先生(現 多摩大学教授)が作成したMDSプログラムを利用して解を求めた。当時のPC性能ではMDSアルゴリズムは逐次計算(繰返し計算をすること)を伴うので、単純なMDSモデルでも実行時間に2時間を必要とした。INDSCALという複雑なモデルでは、1992年時点で高性能PCでも5時間以上を費やした。よって、当時、MDSは一般ユーザには普及しないであろうと見做された。ところが、脳梗塞を患ってから復職した2000年では、INDSCALモデルでもPC性能の急速な進歩で、数秒で解が求められるようになった。アメリカでは精神科で利用されるようになり、本格的な実用化に繋がった。
一見、役に立ちそうもないメソッドでも周辺科学の進歩で20年後には実用化する良い例を、身をもって体験した。

観光立国を通じて 成熟社会への 願いの中で

航空、旅行やIT会社等を経て国際観光学科で航空事業や旅行業界で役立つシステム(CRS)、観光研修等の授業を担当。高校までは明治初期に操業開始、現在、ユネスコ世界遺産に登録申請中の製糸工場跡がある群馬県内の城下町、富岡町で過ごしました。
中・高時代の国語と音楽の先生の影響もあり、大学ではロシア語と楽器に親しむ?事を決めました。国内各地や海外はモスクワ、ソウルに住み、転居を重ねた結果、内外の様々な人々や社会、文化等と出会うことができました。
最近、若者のみならず政治や経済が内向きになったと言われますが、これを成熟社会への転換期と捉え、授業では観光、航空輸送の役割や旅の楽しさ、国際交流の重要性、時には実社会での生き方等を織り交ぜ、学生の視野が少しでも広がるよう努めています。海外研修、昨年末の学科内のソフトボール大会で4年ゼミチームが念願の優勝等々、学生が頑張りと喜び、成長し、社会人として活躍する姿に触れることで、生き甲斐を強く感じます。

経済学と仏教

早いもので流通経済大学に赴任して20年目になります。講義では、専門基礎科目のマクロ経済学などを担当しています。経済学は抽象的な説明が多く、正直取っつきにくいので、その面白さが少しでも伝わるような現実データがないか、毎日気を付けて新聞やテレビを見るようにしています。
近年のグローバル化の流れの中で、格差や貧困の問題への関心が高まり、「市場原理主義」や自由貿易に批判が集まりがちですが、日々の暮らしが市場を介して、他人の労働のおかげによって成り立っていることに気づくべきでしょう。市場自体は善でも悪でもありません。それは使う人間次第です。市場は道法精神、倫理、公共心といった人々の徳性に支えられなければ、その利点を発揮できません。
私は、そういった観点から仏教思想を経済倫理・経済政策に活かす道についても探究しています。仏教は現代日本が抱える諸問題を解決し、人類の将来を切り拓くうえでも智慧の宝庫だと思っています。

馬場啓一の RKU ウォッチング

【第15回】

社会学部
高橋伸子 講師

撮影：齋藤明（総務課）



「大学時代は失敗を恐れずに
挑戦してほしい。
人と関わることによって成長し、
それが将来の自分へ繋がります」

●高橋伸子/たかはし・のぶこ

日本航空にて国内・国際線の客室乗務員、教官業務を担当。退職後、法政大学でキャリアアドバイザーとして活躍するとともに、法政大学大学院経営学研究科キャリアデザイン学修士課程を修了し、2008年4月より本学客員教授として着任。現在は専任講師となり、「キャリアデザイン」等を担当している。



現在では客室乗務員と呼ばれ、ときにキャビン・アテンダントとも称されるが、昔ながらの言い方でスチュワーデス、それが高橋伸子先生の、かつてのお仕事である。

本学では社会学部国際観光学科に所属し、「キャリアデザイン」と「キャリアマネジメント」等を講義中。

「授業では、主体的に自らの『キャリア』を形成するために必要な知識・考え方を学び『働くということ』について検討します」

日本航空（現日本航空インターナショナル）に約二三年勤務、国内・国際線の乗務のほか、教官業務なども勤められた。後進の指導に当たられたのである。「それが現在の仕事に繋がって

いると思います」

客室乗務員を指導する立場になって、人の成長に関わることに興味を覚えられたという。

日本航空を退社後、大学院でキャリアデザイン学を専攻した。「キャリアデザイン学は歴史が浅いので、あまり知られていませんが、他の学問領域を繋ぎ、人間の行動や生き方に結びつけていくものとも言えます。ですから本学の目標とする『実学の大学たれ』というところに関わってくださると思います」

まことに今日的な学問であると言えよう。

「講義を通じて今の自分に向き合い、現代社会を見据え、『自分の将来』と『大学時代の過ごし方』を考えてほしい。そう学生たちに説いています」

学生たちの反応は如何ですか。「私自身が実務家出身ですので、机の上に鞆を置くなとか、遅刻は駄目ですとか、そういうマナーの部分も社会では必要な事として指導しています。キャリアとは連続するもの。日々の行動が将来へ繋がっていきますので、生活習慣の大切さにも触れています」

キャリアデザイン、キャリア教育とは決して小難しいものではないのだ。

「例えばサービスにおけるプロとは、人間の行動における『プラスアルファの仕事』をこなせる人間だと思えます。それは結局自分をしっかり持ち、的確に状況判断して自らが主体的に行動することです」

キャリアカウンセラーでもある高橋伸子先生には学生の迷いも、よくわかるという。

「だからこそ、大学時代は何でもいから失敗を恐れずに挑戦してほしいと思えます。人と関

わることによって成長し、それが将来の自分へと繋がります。広い視野で物事を判断し、主体的に行動できる人材を育成する事はキャリア教育の目的であり、キャリアデザインが目指す方向です」

そしてそれは就職にも結びつくのですね。

「はい。学生は『働くということ』についてイメージが先行し、漠然と不安を抱えています。講義では『働くということ』を考えるための様々な事例を示し、学生自身が前向きに就職活動に取り組めるよう努めています」



企業には「経済」と「道徳」の両立が大切だと考えています。

丸山製茶は創業が昭和八年ということ、もう七〇年以上の歴史があるんですね。

祖父が始めて、私で三代目です。祖父、父の仕事を見ていて、小さい頃から自分も家業を継いでいこうという意識を持っていました。将来、この仕事を受け継いでいくことが自分の運命だと考えていましたね。ただ、大学進学については、高校に入学した時は特に深く考えていませんでした。担任の先生から、大学で学ぶことの大切さを教えられ、流経大を薦められまして、推薦枠で経済学部経営学科に入学しました。

ご実家は静岡ですから、大

年間やりとげ、副部長も務めました。アルバイトもやりましたよ。パン工場でバッテリーを袋詰めする夜勤のアルバイトですとか、ボイラーの掃除、年末は泊まり込みで宅配便のアルバイトもしました。学生にとつてはびつくりするようなバイト代をいただいたり、仕事の世界がどういふものかを知ったり、いずれもとてもよい経験でしたね。

卒業後は東京にある取引先の会社にお勤めになり、その後現在の会社にお勤めになったというのですが、御社の業務内容は非常に多岐にわたっているんですね。

当社は年間、約一四〇〇トンのお茶の製造出荷をしており、これは全国の一・五パーセントぐらいを占めます。取引先は、飲料メーカー、デパート、直営店など様々です。ただ、お茶を取り巻く環境は、現在はあまり良いとは言えないと思います。まず、日本の人口が減少傾向にあること、また一人暮らしの人が増えて家族でお茶を飲む機会が減ったこと、さらには、嗜好

OB/OG訪問

立川が聞く。

Tachikawa hears.

日本茶の産地、静岡県の掛川市で丸山製茶株式会社を運営されている丸山勝久さんに、学生時代の思い出や現在のお仕事のことについて伺いました。

丸山勝久さん

(1982年3月 経済学部卒業)

Katsuhisa Maruyama

取材／立川和美 (社会学部准教授)



学生後は一人暮らしを始められたのですか？

いえ、大学の寮に入りました。当時はキャンパスの中に三つの寮がありまして、全部で一〇〇名近い学生が共同生活をしてい

ました。私は、高校生までは実家で暮らしていましたので、共同の大風呂、食事、四畳半の部屋を学生二人で分けるなど、ともかく全てが初めての経験でした。共同生活ですから、お風呂

飲料の選択肢が増えたことなど、難しい問題があります。ですから、様々な方向に可能性を探り、たとえば、ヨーロッパに日本茶を輸出していますし、それから通信販売の業務も二〇年前から行っています。

モンドセレクションで「最高金賞」を受賞されたお茶があると伺いました。

会社の資源としてはよく、「ヒト・モノ・カネ」といわれますが、私はそれに加えて「情報発信力」も大切だと考えています。政府が日本の農産品を輸出することに力を入れている関係で、フランスやドイツなどの海外の展示会などに出品することも多くなりました。これからの流れを考えた時に、当社の「商品」の客観的な評価が必要ではないかと考え、エントリートランドです。日本茶では、最初の受賞だったのではないのでしょうか。

経営者としてお忙しいことと思いますが、お仕事をなさる上で大切になさっていることはどんなことですか？

私は、企業には「経済」と

の時間、食事の時間も決まっていますし、いろいろなルールがあるわけです。当時は「不自由な生活でいやだなあ」と感じていました。また、それぞれの寮に三年生の寮長、そしてその下に二年生の寮委員が数名おりまして、新入生の面倒を見るというシステムになっていたのですが、当時は上下関係が厳しく、一年生の時はずいぶん大変でした。二年生になりましたら、私は一人暮らしを始めるともいって、寮生活を続けることになったんです。寮委員になることは、自分にとっては思ってもみなかったことでした。そういうわけで、今度は自分が、下級生をまとめる立場に立つことになったわけです。浪人をした一年生などは、

自分よりも年上でしたから、いろいろとやりにくいこともありましたし、当時は「嫌な仕事をやることになったな」と思いましたね。三〇人近くの新入生に、団体生活での秩序の大切さを分かっってもらうため、いろいろな工夫をするのですが、なかなかうまくいきません。ただこの経験は、自分自身の人間形成の基礎となる大変貴重なものとなりました。現在、仕事をする上での経営の方法や、相手の心をどうつかみ、分かってもらうかといった人心掌握の方法など、この時に学んだと思います。

では、大学生活は本当に充実していたのですか？

そうですね。ゼミは会計学の加古先生のゼミで、物流変動会計、つまり時価会計の勉強をしました。加古先生は他の大学でも教えていらして、ゼミを通じて、早稲田の学生などとも交流がありました。それから、軟式テニス部に所属し、ここでもよい友人を得ることができました。テニスは全くの初心者だったため、入部の時に一度断られてしまったほどだったのですが、四

りますからね。

最後に、流経大生にひとことお願いいたします。

何事に対しても、ともかくチャレンジ精神をもって取り組んでほしいです。今の若者全般に感じるようなのですが、皆おとなしくて、あきらめがよすぎ。しかし、そんなに簡単にあきらめてはだめです。終身雇用制の時代は、どの大学を卒業してどの会社に就職するかが問題とされていましたが、現代は、ビジネスチャンスは自分の力でつかむものとされ、スキルアップのための転職が認められるような時代です。ですから、明確な目標を持っていけば、実際に様々なことができるはずですよ。たとえば、大学時代から「起業」を目標として努力するなど素晴らしいことですよ。そういう学生さんを先輩として応援した

いとも思っています。社会に出て働くということは、単にお金を稼ぐということではなく、自分という存在を高めることだと意識してください。

それから、学生時代にいろいろなことに興味を持ち、多くの人と接してほしいですね。人から受ける影響というのは実に広いものです。視野を広げ、自分に本當に向いているものは何かをつかんでください。

「道徳」の両立が大切だと考えています。ですから経営者として、「経済」の面では、将来の目標を具体的に描いて仕事を進めていくことを心がけています。ヴィジョンを数値化するということですね。どういう分野にどれくらいの準備をし、それがどのような結果として表れるかを常に考えるようにしています。このように考えるようになったのは、人間というのは、「自分が考えた以上のことは達成できない」ということを知ったからです。偶然もたらされる成功といったものはありません。理想や目標を持たない限り、きちんとした成果を上げることは難しいのではないかと思います。

それから、「道徳」ですが、これは、社員がやる気を出せるような環境作りですね。社員一人一人が持っている能力をいかにうまく引き出せるか、そのためにチャンスを与え、正当な評価をするような心がけています。これは会社の発展のみならず、人自身の向上にもつながるので、お互いにとってのメリットとな

大変美味しいお茶、そして季節限定の抹茶味のぜんざいをごちそうになりながら、お話を伺いました。インタビューの後、社内をご案内いただいたのですが、社員の方一人一人に丁寧なお声をかける、包容力のある優しいお人柄です。「お休みの日はどのように過ごされているのですか？」と伺うと、「うーん。ゴルフを少し、それからタウンウォッチングに出かけるくらいですね。仕事が趣味なんです」と苦笑され、生き生きと仕事に取り組む姿が印象的な方でした。



流通経済大学図書館からのお知らせ・ヨーロッパツアー報告

【図書館】

●2010年度 読書コメント大賞決定

流通経済大学図書館が開催している「読書コメント大賞」の年間コメント大賞が決定しました。

「読書コメント大賞」は、学生が本を読み、感じたことなどをコメントにしてポップ広告風にまとめた作品の中から優秀なものを選ぶという企画です。

2011年度の年間コメント大賞と年間優秀賞は下記の作品です。

【年間コメント大賞】

小川恵奈 (ビジネス法学科)

『だから、あなたも生きぬいて』
大平光代 著(講談社)



【年間優秀賞】

北島真紀 (社会学科)

『ダ・ヴィンチ・コード』
ダン・ブラウン 著 / 越前敏弥 訳(角川書店)



【年間優秀賞】

中村紀 (社会学科)

『もういちど読む山川日本史』
五味文彦・鳥海靖 編(山川出版社)

【ヨーロッパツアー】

●第35回ヨーロッパツアー報告

学生から希望者を募って催行された第35回ヨーロッパツアーは、16名の学生と職員1名が2月16日に成田を出発し、ヨーロッパ各地を巡りました。伝統的な歴史と文化をもつヨーロッパを見聞することで、日本にはない多くの感動を体験することができたのではないのでしょうか。

〈コース〉

成田 → ローマ → フィレンツェ → ヴェネチア → ザルツブルグ → ウィーン → バルセロナ → ナポリ → 成田
上記の都市を15日間で巡りました。



Hello! international student! 留学生紹介 vol.14



黒竜江省ハルビン市出身の楊さんは、日本と中国を結ぶ物流関係の仕事に就くことを目指しています。

取材 / 沖野雅広(企画広報室)

流通情報学部
流通情報学科4年
楊 昭杭 さん
ヨウ・ショウコウ
中国出身

大学生生活最後の1年も色々なことにチャレンジしたい

— 学生アドバイザーとして、高校生と楽しく話をしている姿が印象的な楊さん。アドバイザーの活動に参加するキッカケは何だったのでしょうか？
ゼミの関宏幸先生から人手が足りないという事で、「やってみない？」と声をかけていただいたことです。
私は、流経大が好きなので、オープンキャンパスに参加された方に良いところを見て、知ってもらいたいと思いました。見学に来た方々が流経大を好きになってもらえるように紹介していきたいです。
— 「流経大が好き」と言ってくれる楊さん。いつから日本に留学しようと考えていたのでしょうか？
高校生まで、あまり勉強は好きではなかったです。でも、外国語を学びたいという気持ちがいつも私の中にありました。中国でも大学に進学すれば外国語を専門的に勉強することはできるのですが、学ぶのならば、読み書きだけでなく、現地の人とその国の言葉で会話ができるようになりたいと思いました。でも、日本を選んだのは、近いし、文化も似ていると思って。でも

— 日本語がとてスムーズですが、日本語の勉強はどのようにしたのでしょうか？
私が流経大に通っていたんです。楽しそうだったので、私は将来「物流」関係の仕事に就きたいと考えています。流通情報学部では、「物流」について専門的に学べると聞いたからです。将来、日本と中国を結ぶような仕事をしたくて考えているので日本語をもっと勉強していきたいと考えています。
— 日本語がとてスムーズですが、日本語の勉強はどのようにしたのでしょうか？
私なんか、まだまだですよ。勉強とまではいかないのですが、日本のテレビをみます。テレビだと最近のニュースや流行とか



— 大学生生活も、あと一年。将来の進路が明確な楊さん。今後の大学生生活を、どう過ごそうと思っていますか？
自分の希望する仕事に就けるよう、努力していきたいですね。いままでできなかったことにチャレンジしたり、大学での生活をもっと充実させていきたいと思っています。
— 大学生生活も、あと一年。将来の進路が明確な楊さん。今後の大学生生活を、どう過ごそうと思っていますか？
間違えた日本語を使っているときに、「違うよ」とつっこまれているのも、いい勉強になっていると思います。
— 大学生生活も、あと一年。将来の進路が明確な楊さん。今後の大学生生活を、どう過ごそうと思っていますか？
間違えた日本語を使っているときに、「違うよ」とつっこまれているのも、いい勉強になっていると思います。
— 大学生生活も、あと一年。将来の進路が明確な楊さん。今後の大学生生活を、どう過ごそうと思っていますか？
間違えた日本語を使っているときに、「違うよ」とつっこまれているのも、いい勉強になっていると思います。



新学期を迎えて

大学とは、どういうところか。

一言でいうなら以下の言葉に有る如くである。

すなわち、

学ンデ 思ワザレバ 則チクラク

思ッテ 学バザレバ 則チアヤフシ

孔子だ。論語にある。

その意味は、

人から学ぶばかりで、自分で考えなければ、宜しくない。

だが考えるだけで、人から学ばないと、これも良くない。

つまり大学とは、教師に学ぶと同時に

自分で考える場所なのだ。

学生は教師に教を乞うが、それには

自分で考える作業がないと、駄目なのである。

各人大いに勉学に勤しみ、教師が厳しく導く。

謂わば車の両輪である。

以上を肝に銘じて大学生活を送るべし。

法学部教授 馬場啓一

RKU Schedule

2011年4月～
2011年7月

全学

- 【4月】・入学式
・RKU WEEK
・春学期授業開始
- 【6月】・海浜実習
(スポーツ健康科学部のみ)
- 【7月】・春学期授業終了
・春学期定期試験

就職関連

- 【5月】・第1回就職ガイダンス
(就職への心構え)
- ・第2回就職ガイダンス
(自己分析対策1)
- 【6月】・第3回就職ガイダンス
(ゼミ別・就職活動の諸手続き)
- 【7月】・第4回就職ガイダンス
(自己分析対策2)

【編集後記】

●地震は何の前触れもなくやってきます。それにしても千年に一度の規模と言われた東日本大震災は、東日本を中心として想像もできなかったような大災害をもたらしました。

大きな揺れの後に襲来した大津波で多くの尊い人命が犠牲となったことに対し、衷心より哀悼の意を表する次第です。また、大津波や大火災等で被災された方々に心からお見舞い申し上げます。

●さて、新聞やテレビ等によりますと被災地では、日を追うごとに復興に向けて黙々と立ち上がる被災された方々の姿が、少しずつではありますが見られるようになってきたそうです。

青森県、岩手県、宮城県、福島県、茨城県、千葉県をはじめ被害を受けた地域に復興の槌音が鳴り響き始めることを皆様とともに待ち望みたいと思います。

●あらためまして被災されたすべての方々に心よりお見舞いを申し上げますとともに、一日も早く以前の生活が出来るようになりますことを切に願う次第です。

(編集子)

01 ●

卒業論文発表会

社会学部・流通情報学部の卒業論文発表会が、両キャンパスで開催されました。

みな緊張した面持ちで発表に臨んでいました。発表が終了した後は、仲間の発表に耳を傾けている姿が印象的でした。



NEWS & TOPICS



02 ●●

業界・企業説明会

1月下旬に、新4年生を対象にした就職説明会が開催されました。

本学OBが就職した企業をはじめ、本学生に興味を持っていただいた企業延べ約140社の人事ご担当者が来学されました。社会に出て、「何ができるか」そのためには、大学生活を「どう過ごすのか」学生たちは将来の進路指針となる話をうけ、これからの就活をさらに意欲的に動けるようになってほしいと思います。



03 ●●●

スポーツ方法実習 (スキー・スノーボード)

2011年2月7日～10日(3泊4日)の期間、長野県志賀高原にて、スポーツ方法実習が行われました。

履修者は、スキーまたはスノーボードの班に分かれ、実習が展開されました。また、雪上での応急処置の訓練が行われ、悪環境での処置の難しさも同時に学びました。実習期間中は天候にも恵まれ、それぞれの技術向上に努めていました。



2011年度 オープン キャンパス



開催のお知らせ

流通経済大学では今年もオープンキャンパスを開催します。
この機会に大学を見て、知って、感じてみませんか？
盛りだくさんのメニューを用意してお待ちしております。
※事前のご予約は不要です。お気軽にご来場ください。

開催日程

龍ヶ崎キャンパス 茨城県龍ヶ崎市平畑120

6/25(土)・7/30(土)・8/7(日)

8/27(土)・9/17(土)・10/8(土)・10/29(土)

新松戸キャンパス 千葉県松戸市新松戸3-2-1

6/11(土)・6/18(土)・7/23(土)・8/6(土)

8/20(土)・9/10(土)・10/1(土)

開催時間

10:30~15:00

メニュー

- 学食体験
- 先輩学生によるキャンパスツアー
- 大学紹介(学部学科紹介)
- 模擬授業

など

お問合せ

【流通経済大学入試センター】

TEL: 0297-60-1156 (入試センター直通)

e-mail: ees@rku.ac.jp

URL: <http://www.rku.ac.jp/go>



RKU

流通経済大学広報誌 **RKU Today vol.15** 2011年4月発行

編集・発行/学校法人日通学園 流通経済大学企画広報室

茨城県龍ヶ崎市平畑120 〒301-8555 TEL: 0297-64-0001 (代表)

Association of Japan University Accredited
UNIVERSITY ACCREDITED
2008. 4~2015. 3